

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月23日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 東京都港区芝2-6-1

氏 名 株式会社 長谷工リフォーム

代表取締役社長 河合 英樹

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-3457-7910

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 長谷工リフォーム 東京支社
事業場の所在地	東京都港区芝2-6-1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	完成工事高（37,463百万円）
③従業員数	146名（東京支社 建設部門）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 再生利用業者へ処理委託を行い、中間処理業者にてリサイクルを実施し、最終埋立処分量を削減しています。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 継続して再生利用業者へ処理委託を行い、中間処理業者にてリサイクルを実施し、最終埋立処分量を削減していきます。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 主に、廃プラスチック・金属くず・ガラス陶磁器くず・がれき類・紙くず・木くず等の分別を実施。また、作業所の分別ヤードには品目ごとにオリジナル分別看板を掲示し、少量容器による分別回収を実施しています。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現在の取組を継続するとともに、更なる分別率促進へ取り組みます。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 優良認定業者や適切に再生利用処理を行っている業者と委託契約を結び、リサイクル率の向上・適正処分に努める。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>引き続き、優良認定業者や適切に再生利用処理を行っている業者と委託契約を結び、リサイクル率の向上・適正処分に努める。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添1 処理工程図

別添1

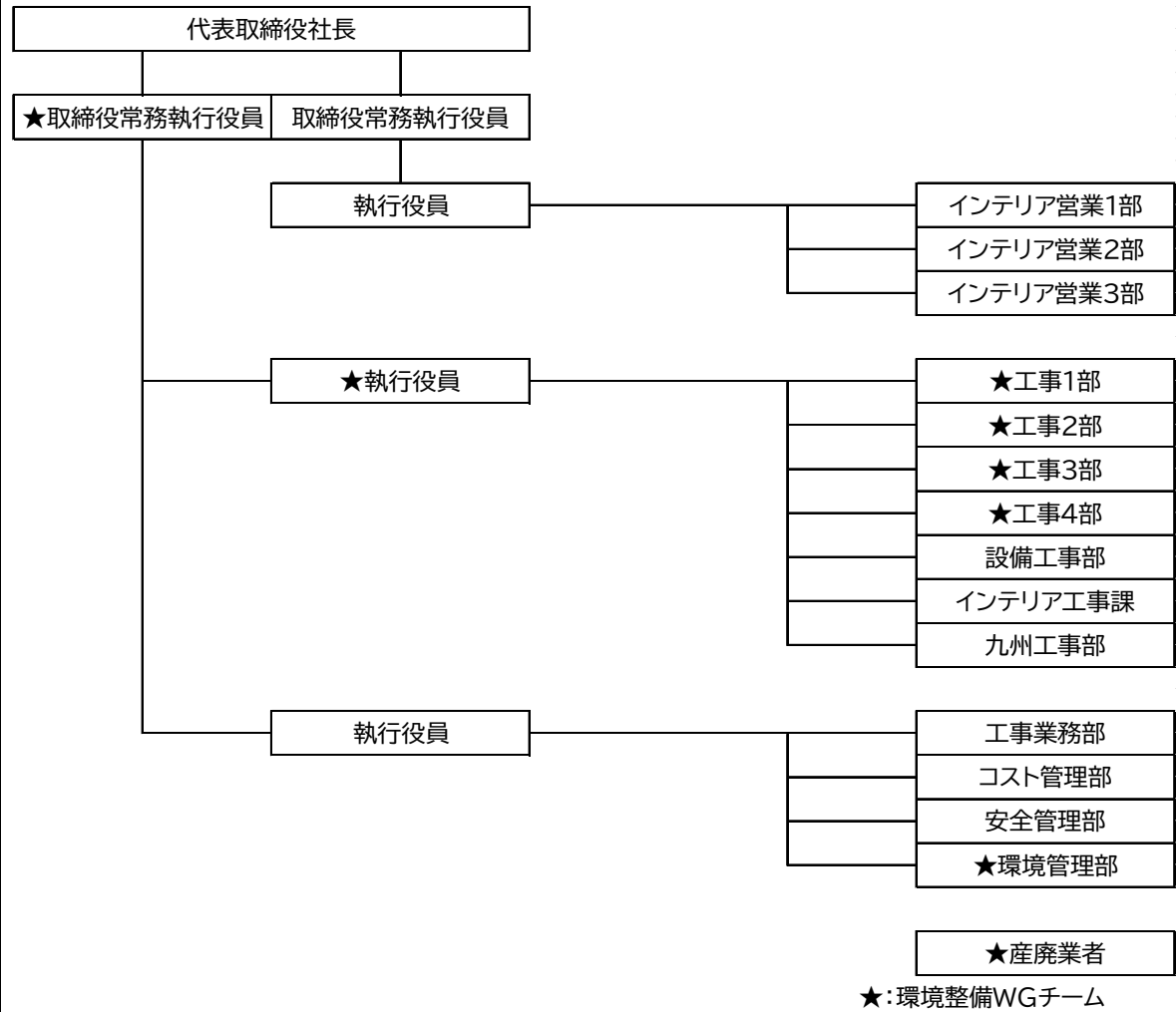
産業廃棄物の一連の処理工程

株式会社 長谷エリフォーム

	主な品目	処理方法	利用用途・最終処理等
長谷エリフォーム 各作業所	廃プラスチック	破碎・圧縮	マテリアルリサイクル
			サーマルリサイクル
			埋立
	紙くず	破碎・圧縮	マテリアルリサイクル
			サーマルリサイクル
			埋立
	木くず	破碎	マテリアルリサイクル
			サーマルリサイクル
			埋立
	繊維くず	破碎・圧縮	マテリアルリサイクル
サーマルリサイクル			
埋立			
金属くず	圧縮	マテリアルリサイクル	
ガラス陶磁器くず	破碎	マテリアルリサイクル	
		埋立	
がれき類	破碎	マテリアルリサイクル	
		埋立	
混合廃棄物	破碎・圧縮	マテリアルリサイクル	
		サーマルリサイクル	
		埋立	
石綿含有		埋立	
廃石綿等	溶融処理	マテリアルリサイクル	

別添 2 管理体制図

管理組織図



各責任者(責任部署)	主な役割及び権限
代表取締役社長	環境マネジメント活動についての全ての責任と権限を持つ
取締役常務執行役員	各部門が行う環境マネジメント活動の責任と権限を持つ
執行役員	産廃処理方針の策定
環境管理部	産廃処理計画の作成

